



# 日本赤十字社 和歌山医療センター

Japanese Red Cross Society

## 医療連携だより

秋号

No. 83



和歌山市小松原通四丁目20番地  
TEL : 0120-965-582 (医療連携課)  
FAX : 0120-937-510 (医療連携課)

(発行責任者)  
管理局长 内田 一彦  
e-mail : renkei@wakayama-med.jrc.or.jp



### 令和4年度

## 「日本赤十字社和歌山医療センター 医療連携ネットワークの集い」開催

医療連携総合支援センター副センター長兼産婦人科部長 吉田 隆昭

標記集いを令和4年10月8日(土) ホテルグランヴィア和歌山にて開催いたしました。

医療連携ネットワーク会員の先生方及び当センター職員併せて113名が出席しました。

今回は、山下幸孝院長による講演「これからの日本赤十字社和歌山医療センター」と、新たな試みで、パネルディスカッション「医療連携について～もっと日赤こんなことやってよ～」を開催しました。

パネリストに野村内科医院 野村康晴院長先生、ひまわりこどもクリニック 上中保博院長先生、星野クリニック 星野好則院長先生にご登壇頂き、中医療連携総合支援センター長を交え、本センターの現状、取り組みの説明の後に、事前アンケート調査の回答を基に意見交換を行い、様々なご要望・ご指摘を賜りました。

今回頂いた貴重なご意見を参考に今後もよりよい連携ができますよう、職員一同精進いたします。また社会情勢がおちつきましたら、意見交換会も開催し、会員の先生方と職員が親睦を図る機会を設けたいと思いますので、ぜひご参加ください。



### 2021年度 医療連携取り組み

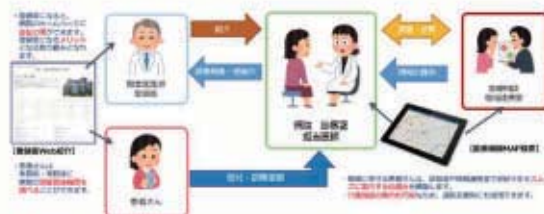
- ・予約センター(平日9:00~19:00 土曜9:00~13:00)

(※2021年1月より最終受診から1年未満の患者様の予約取得を開始)

- ・オンライン検査予約(CT,MRI,骨密度)
- ・セカンドオピニオン
- ・医療機関訪問 177件 (内医師を伴った訪問120件)
- ・勉強会、研修会開催 40件
- ・広報誌作成 (ガイダンス発行、医療連携だより年4回発行)

### 地域連携システム「メディマップ」導入

- ・かかりつけ医相談窓口を新設
- ・医療機関情報を地図(医療情報)検索システムで検索し(印刷)
- ・患者様にネットワーク会員を優先的に紹介(案内)



### 紹介件数・逆紹介件数推移



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
紹介件数	25,000	25,894	22,905	24,842
逆紹介件数	19,871	19,920	19,223	21,067



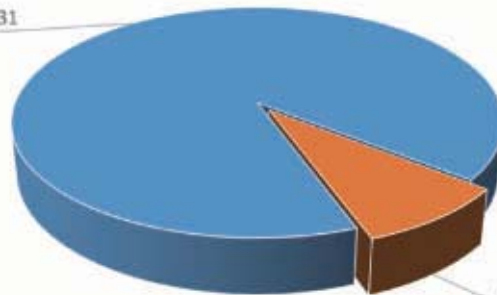
# パネルディスカッションアンケート ご意見・ご要望

## 1. 予約センターについて

### ■ 予約票(取得)の連絡

	回答数
適切	31
返事が遅いときがある	3
返事が遅いときが多々ある	0

適切, 31



返事が遅いときがある, 3

ご意見・ご要望	回答
最終受診後1年以内の受診(再診)予約もとって欲しい。	令和3年1月より、紹介状のある患者様に関しては、再診患者様でも予約センターにて予約取得しています。
紹介先の診療科で「確認が必要」と言われた時に、自院で予約確定まで待機している患者の待ち時間が長くなる。	症状等によっては、どうしても各診療科への確認が必要な場合があります(希望される診療科から変更となる場合もある)、お待たせすることがあります。時間を要する場合は、その旨ご連絡するようにしています。
専門外来は(主に)午後にかぎられる。午前にも予約取得できないか。	曜日により、専門外来が分かれており、診療科の都合上、午後からの専門外来が多くなっています。午後から(もしくは午前)の来院がどうしても困難な場合等は医療連携課へご連絡頂ければ可能な限り調整いたします。
午後の診療を希望される患者もいる。	
オンライン検査予約システム(カルナコネクト)は検査予約だけでなく、診察予約も可能になればよりスムーズになるのではないか。	オンライン検査予約システム(カルナコネクト)の診察予約への拡張は、予約センターでのトリアージを挟まなくなる等、幾つか問題がありすぐの対応は難しいですが、特定の診療科からでも診療予約をオンラインでできるよう検討いたします。
予約日の日時変更等について医療機関同士のやりとりが煩雑。(患者から予約センターへ直接連絡して調整できないか。)	紹介状をお持ちの方、予約取得後日時等変更のある方は、患者様からのお電話でも対応しています。対応が徹底できるよう予約センター内で改めて共有いたします。

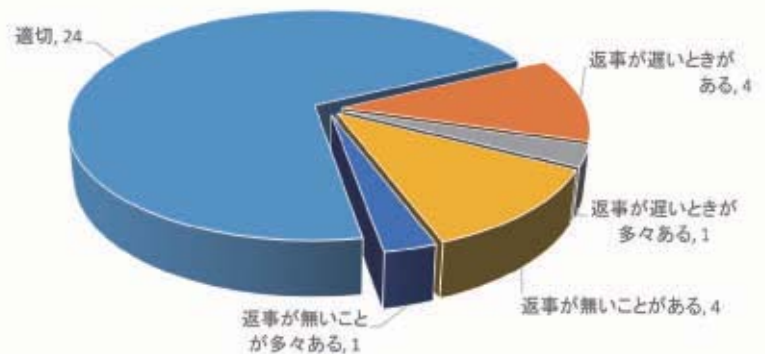




## 2. 紹介状返書について

### ■ 紹介状返書の連絡

	回答数
適切	24
返事が遅いときがある	4
返事が遅いときが多々ある	1
返事が無いことがある	4
返事が無いことが多々ある	1



ご意見・ご要望	回答
紹介状返書が届きますので、入院、退院のFAX（事務連絡）は不要かと思えます。	事務連絡 FAX 不要のアンケート実施等の対応を検討いたします。
逆紹介して頂いた時、日赤での経過や、検査結果がわからない状態で患者が来院することがある。	定型文で内容が乏しい返書を作成する若年層医師が見受けられます。各診療科上級医がしっかり教育すべきと考えます。添付資料については、医師に対して適時添付するよう意識づけを徹底します。
手術しただけでなく、どういう手術をしたか簡単に明示してほしい。	その上でFAXにてデータ添付希望欄を設けて必要時にはチェックを入れる等のシステム構築を望むというご意見もいただきました。申し込みフォーム等を含め、検討いたします。
採血データや画像データを添付してほしい。	
救急でお願いした時の患者さんの返書がいつまでも送り返されない事がよくあります。	たとえば内科から外科に転科された場合、内科医師の報告のみですましている場合があります。入院患者の転科は、事務サイドで転科先医師に依頼をしていますが、外来途中での転科に関しては、チェックが難しいのが現状です。今後は方策を考え対処します。
救急科から担当科に移された場合の返事が遅い。	
紹介時初診のご連絡だけでなく、経過を（治療の転換期などに）教えていただけるとありがたい。	

## 3. その他

ご意見・ご要望	回答
救急外来への直通のFAX番号を教えてください。	患者情報がすぐに必要な場合は、救急外来からクリニックへ連絡し、FAX番号をお知らせしています。今後FAX番号の周知については、検討します。
青洲リンクへの参加を強く希望する。	国が共有プラットフォームの開発をすすめているので、そちらに合わせる方向で検討しています。
緊急時の緊急搬送のとき、日赤からドクターカーでドクターにきてもらいたい。クリニックから医師やナースが行くのは、マンパワー的に厳しい。	当センター常駐のドクターカーは、日赤独自のものではなく、和歌山市消防局との合同でのシステムであり、派遣の判断は和歌山市消防局が担っているため、毎回ドクターカーに日赤のドクター同乗で現場へ向かう事は難しいです。「ピックアップシステム」を利用する方法もありますが、現着までの時間がどうしても長くなる欠点もあります。こういった意見があったことは、和歌山市消防局警防課とのミーティングで報告致します。
内科の開業医ですが、腹痛があり、精査の結果腎結石であった場合は、日赤内の関連の診療科（泌尿器科）に翌日以降に紹介していただくことはできないか。	緊急性がある場合は、専門医やオンコール医が診察にあたります。ただし緊急性の低い場合は、ER医の判断で一旦帰宅していただき、後日お近くのクリニックを受診していただくよう勤める場合があります。
紹介患者は紹介元へ返るのが基本かもしれませんが、当院から他の専門機関に紹介することもあるので、しっかりとした返事がほしい。	当センターでは、かかりつけ医を紹介させて頂くために「メディマップ」という地域連携システムを導入しており、このような場合にも利用し、お近くのクリニックを紹介させていただき、紹介いただいた先生、患者様にも納得して頂けるよう努力します。
紹介状に書いた病名と別の疾患で診察希望された場合、改めて紹介状を書いてもらうよういわれた。遠方の方、高齢の方も、同日に院内紹介できないか。	患者さんには負担になりますので、軽減できるよう検討していきます。

その他ご意見、ご要望がございましたら医療連携課までご連絡ください。医療連携課 TEL 0120-965-582





## がんセンター通信 ⑦

(乳腺ユニット)

乳腺外科部長

松谷 泰男

がんセンター  
Cancer Center

私たちの乳腺ユニットは乳癌検診で異常を指摘されたり、ご自身でしこり等の症状に気づかれて地域の医療機関を受診し当院に紹介された方などを精査し、癌のみならず良性腫瘍や乳腺炎など乳腺に関するあらゆる疾患を診断・治療してゆくユニットです。その中で最も多くを占めるのが乳癌ですので、今回は乳癌についてお話しします。

乳癌は現在も年々徐々に増えており一生涯を通じ9人から10人に1人の女性になるとされ、女性では罹患率第一位です。しかし亡くなる人は約70人に1人と女性の悪性腫瘍では第5位で、乳癌になった人の約8割は治癒する病気です。しかし、病状が進んだ人は治癒の見込みが少なくなるので早期発見・治療に尽きます。

乳癌の治療は手術、放射線治療、薬物療法と多岐に亘り、薬物療法は内分泌療法剤、化学療法剤、分子標的薬剤とさらに多くの選択肢があります。どの治療をどの順番で行うのかを決めるために、カンファレンスという会議で衆智を集めます。カンファレンスは乳癌診療に関わる様々な職種の方々と数多くの場で行き情報を共有しますが、こういっ

たカンファレンスを通じ病気の状態のみならず患者さんのニーズ、社会的な環境や心理的な受け入れなど様々な方面から検討し、チーム全体で1人の患者さんに対応してゆく体制を取っています。乳癌の約5-10%は遺伝する要素があると考えられ、当ユニットではそのような遺伝子の変異についても診断を行っています。この結果は診断された方だけでなく家族の方の今後の意思決定にも影響するので、患者さんやご家族の方々を支えて行く環境も非常に重要です。当ユニットは産婦人科・腫瘍内科と共に遺伝性腫瘍のチームを作り、認定遺伝カウンセラーを中心に遺伝性腫瘍全般に対する診療体制を整えています。

昨年度は200人を超える新規に乳癌になられた患者さんの手術を行い、約180人の手術前後の薬物療法、約100人の進行した乳癌の方や再発した方の治療を行いました。

最新のエビデンスに基づく質の高い医療の提供はもちろんのこと、患者さん自身やご家族の心強い相談相手となるべく日々努めております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 令和4年度診療科別合同セミナー・講演会実施一覧

当センターでは、各種講演会を実施しています。開催時には、随時ご案内しますので是非ご参加ください。

日時	診療科	会合・講演会名	場所	参加人数 (合計)
7月8日(金)	血液内科	地域連携 Web Seminar ~血液内科で診る患者さん~	WEB 配信	23名
7月14日(木)	循環器内科 救急科・集中治療部	循環器救急診療 アップデート	WEB 配信	72名
7月21日(木)	整形外科 リハビリテーション科	令和4年度 第1回大腿骨頭部・転子部骨折連携バス合同カンファレンス	WEB 配信	37名
7月28日(木)	腎臓内科	CKD 病診連携を考える会	WEB 配信	15名
8月1日(月)	脳神経内科	頭痛診療 Up to Date	WEB 配信	21名
8月22日(月)	腎臓内科	高血圧診療 Up To Date	WEB 配信	29名
9月28日(水)	消化器内科 消化器外科	HCC-Meeting in 和歌山	WEB 配信	32名
9月29日(木)	乳腺外科	第16回 Breast Cancer Network Construction Seminar	WEB 配信	12名

### 就任のお知らせ

10月1日付

皮膚科部 **改正 純一** (医師)  
病理診断科部 **辻井 秀明** (専攻医)

腎臓内科部 **山崎 瑞歩** (専攻医)

以上の職員が新たに就任いたしました。よろしくお願いいたします。

### 退職のお知らせ

8月31日付

循環器内科部 **花澤 康司** (副部長)

9月30日付

循環器内科部 **尾上 隆大** (専攻医)  
消化器外科部 **鳴神 江莉** (専攻医)

糖尿病・内分泌内科部 **海道 陽介** (専攻医)

腎臓内科部 **海児 健志** (専攻医)

皮膚科部 **澤田 智也** (専攻医)

放射線診断科部 **大植 智史** (専攻医)

以上の職員が退職いたしました。大変お世話になりました。